

# コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2024-12-01 No. 170

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

## コスモス ニュースレター EMC & 安全

## 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary .....	2
IEC: 規格解説: CISPR 11 第 7.0 版 2024-02 工業、科学、医療機器 – 限度値と測定方法(3/3) ...	3
IEC: 新規格リスト .....	7
ISO: 新規格リスト .....	12
国際テーマ: ナイジェリアの通信機器規制の変更: セキュリティ要件を追加 .....	12
国際テーマ: 汎アフリカ自由貿易協定が発効: 13 億人が住む広大な単一市場 .....	13
国際テーマ: インド、ネットワーク技術製品のセキュリティ認証を義務づけ .....	14
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲 .....	15

USA: FCC: ワイヤレス端末モデルの 100% に補聴器両立性(HAC)を求める規則を採択 .....	16
USA: FCC: KDB: 質問: 信号ブースターの評価に関する FCC のガイダンス .....	17
USA: FCC: Part15: 高度トランジットロケーションシステムに対する規則の適用免除の変更 ..	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知 .....	19
USA: FDA: 診断用 X 線機器の製造業者向け放射線管理規制を明確にするためのガイダンス ..	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト .....	20
USA: IEEE: 新規格リスト .....	21
カナダ: ISED: RSS-222 — ホワイトスペース機器 (WSDs) 第 4 版が発行 .....	22
カナダ: ISED: 生体曝露: 曲線適合法を用いた神経刺激適合性評価に関する追加ガイダンス ..	23

EU: 機械指令、EMC 指令、低電圧指令、無線機器指令などを改正する指令: 緊急事態対応 .....	25
EU: 低電圧指令の整合規格が追加: 電気自動車用コンダクティブ充電システム関連など .....	27
EU: 欧州委員会、今後のデジタル製品パスポートに関する意見を募集 .....	27
EU: 洋上再生可能エネルギーの拡充: 風力発電の世界的リーダーである EU .....	29
EU: CENELEC: 新規格リスト .....	30
EU: ETSI: 新規格リスト .....	36
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト .....	37

中国: CQC: 電動自動車の直流給電機器用充電モジュールの認証開始に関する通知 .....	38
中国: CQC: 一般照明用 LED モジュールの安全、電磁両立性、光生物学的安全性等の認証規則 ..	38
中国: CQC: 照明器具と 36V 以下の照明器具の安全及び電磁両立性認証: 新版認証規則の実施 ..	39
中国: CQC: 電気電子製品及びその付属品への新版規格と実施規則の適用に関する通知 .....	39
中国: CQC: スマート防犯カメラの性能等級認証(カテゴリ 001129)の技術規範及び実施規則 .....	40
中国: 新規格リスト .....	40
台湾: 新規格リスト .....	42
韓国: 韓国: 情報通信分野 (KS X) 国家標準制定、改正通知 .....	43
韓国: KS 新規格リスト .....	44

総務省: 令和 6 年度無線設備試買テスト中間報告 (第 1 次) の公表 .....	44
総務省: 433 MHz 帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーの導入へ制度整備 .....	45
総務省: 「X 帯沿岸監視用レーダーの技術的条件」に関する情報通信審議会からの一部答申 .....	46
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2024 年 11 月分) .....	46
経済産業省: よくある違反事例集 ~電気用品安全法に関するもの~New .....	47
国土交通省: トヨタ「クラウンセダン」がファイブスター賞を獲得! .....	48

ちょっといっぴく~小クイズコーナー デジタル製品パスポートとは? .....	15
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内 .....	24
社長の独り言 .....	49

## IEC: 規格解説: CISPR 11 第 7.0 版 2024-02 工業、科学、医療機器 - 限度値と測定方法(3/3)

- CISPR 11 第 7.0 版 工業、科学、医療機器(ISM 機器) - 無線周波数妨害特性 - 限度値と測定方法が、2024-02 付けで発行された。本第 7 版は、2015 年に発行された第 6 版、修正 1: 2016、及び修正 2: 2019 をキャンセルして置き換える。この版は技術的な改訂版である。

## USA: FCC: ワイヤレス端末モデルの 100%に補聴器両立性(HAC)を求める規則を採択

- FCC は、携帯電話などのワイヤレス端末モデルの 100%を補聴器両立性とすることを義務づける規則を採択した。また、2024 年 11 月 13 日付けの米国官報にて公示された。この新規則により、4800 万人の難聴を抱える米国人が制約なく携帯電話を購入できるようになる。
- 移行期間は、携帯電話の製造業者に対しては 24 か月間、米国内のサービスプロバイダに対しては 30 か月間、国外のサービスプロバイダに対しては 42 か月間、Bluetooth のペアリング要件に関しては 48 か月間となっている。Bluetooth のペアリング要件に関して、この期間中は製造業者は従来の専用 Bluetooth 技術を使用してもよい。この期間後は、非専用（オープン）であるペアリング技術だけが許可される。

## EU: 欧州委員会、今後のデジタル製品パスポートに関する意見を募集

- 欧州委員会は、持続可能な製品のエコデザイン規制(EU) 2024/1781 (ESPR)に基づくデジタル製品パスポート(DPP)サービスプロバイダの要件を定めるため、影響評価の準備として“根拠に基づく情報提供の照会”を開始した。DPP は製品のライフサイクル全体のデータを保存し、消費者や当局が情報に基づいて判断できるようにするためのものである。

## EU: 機械指令、EMC 指令、低電圧指令、無線機器指令などを改正する指令: 緊急事態対応

- 2024 年 11 月 8 日付けの欧州連合官報にて、一般製品安全規制、機械規制などを改正する指令 (EU) 2024/2748、そして機械指令、EMC 指令、低電圧指令、無線機器指令などを改正する指令 (EU) 2024/2749 が公布された。これらの指令は、同日公布の規制(EU) 2024/2747（欧州域内市場緊急対応法: IMERA）に関連している。コロナ禍などの経験を踏まえ、域内市場緊急モードが発生したときに危機関連商品を EU 市場でスムーズに流通させるため、規格や共通仕様の採用、市場監視の優先などが定められている。EU 加盟国は、2026 年 5 月 29 日までにこの指令に適合するのに必要な措置を採択、公布し、2026 年 5 月 30 日からその措置を適用しなければならない。

## 総務省: 433 MHz 帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリの導入へ制度整備

- 総務省では、国際周波数協調の観点から、国際的に普及が進む 433MHz 帯を使用したタイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリの国内導入に向けた検討を行ってきた。
- 433MHz 帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリの導入に係る制度整備—電波法施行規則等の一部を改正する省令案等に係る意見募集

# IEC: 規格解説: CISPR 11 第 7.0 版 2024-02 工業、科学、医療機器 – 限度値と測定方法(3/3)



## Summary

CISPR 11 第 7.0 版 工業、科学、医療機器(ISM 機器) – 無線周波数妨害特性 – 限度値と測定方法が、2024-02 付けで発行された。

本第 7 版は、2015 年に発行された第 6 版、修正 1: 2016、及び修正 2: 2019 をキャンセルして置き換える。この版は技術的な改訂版である。この版には、以前の版に対する次の重要な技術的変更が含まれている:

- a) 共通エミッション規格で規定されている要件に従って、グループ 1 機器の 1 GHz を超える周波数範囲での放射妨害に対する限度値を導入。
- b) 共通エミッション規格で規定されている要件に従って、有線ネットワーク ポートでの伝導妨害に対する限度値を導入。
- c) 無線送/受信機能を組み込んだ機器に対する要件を導入。
- d) さまざまなタイプのロボットの定義を導入。
- e) ロボットの測定セットアップや動作モードなど、ロボットを測定する際の特定の条件を規定。

本第 7 版には、第 6 版の Amd. 1、Amd. 2 による変更は既存のものとして含まれており、本解説記事でも今回の新規変更点としては、扱っておりません。

第 6 版の Amd. 1、Amd. 2 による変更のそれぞれの内容は、過去の規格解説記事を参照ください。第 6 版の Amd. 1 は既刊の本誌 No. 89(2017/8)、及び第 6 版の Amd. 2 は、既刊の本誌 No. 108(2019/5)と No. 109(2019/6)です。

各見出し直後のイタリック体のテキストは規格本体のものでなく、筆者による解釈テキストです。

本解説記事は、本第 7 版に加えられた新規規定、並びに従来からの規定で変更がないものも骨格部分について述べ、本規格の最新概要をお伝えします。

## 8 試験サイト測定に関する特別規定 (9 kHz ~ 1 GHz)

第 6 版(Ed. 6)の A1、A2 による変更はあるものの、本章での Ed. 7 による変更は微小変更のみ。従来通り下記各項目に対する特別規定を定めている。

### 8.1 グランドプレーン

オープンエリア試験サイト (OATS) および半無響室 (SAC) での放射妨害波の測定、および任意の試験場での伝導妨害波の測定には、グランドプレーンを使用する必要がある。

(Ed. 7 で追加 +++) 放射試験サイトの要件は 8.3 に、伝導妨害波の測定用のグランドプレーンの要件は 8.2 に記載されている。

試験対象機器とグランドプレーンの関係は、使用中に発生する関係と同等である必要がある。EUT の意図された接地場所を除き、床置き型 EUT は、厚さ 15 cm までの誘電体材料でグランドプレーンから絶縁する必要がある。アース (つまりグランドプレーン) への直接接続は、次の方法で行う。

- a) EUT の指示に従って行うか、
- b) または、試験対象機器に特別なアース端子が取り付けられている場合は、この端子をできるだけ短いリード線でアース (つまりグランドプレーンにボンディング) に接続する。図 4 も参照されたい。

### 8.2 伝導妨害の測定



株式会社コスモス・コーポレーション

## 自動車部品の耐水試験についてのご案内

**当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。**

**(JIS D 0203 対応)**

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

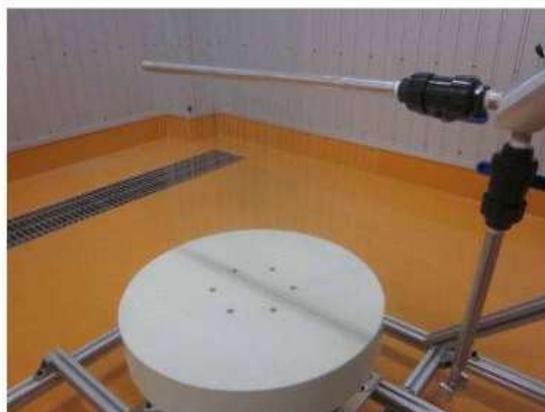
### 評価実施内容

散水試験	R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験
	R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
噴水試験	S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
	S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験

### R1 及び R2



### S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : [www.safetyweb.co.jp](http://www.safetyweb.co.jp) E-mail : [sales@cosmos-corp.com](mailto:sales@cosmos-corp.com)

【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレーション

## 社長の独り言

2024年11月18日

濱口 慶一

この原稿を書いている時点では例年の秋の初め頃の気候で、時折夏に戻ったかのように感じる日もありますが、12月号が皆様に届く頃には冬の寒さが本番を迎えているのではと思います。体調を崩さないようにくれぐれもご自愛ください。

今年もお客様企業や監督省庁などに訪問して、多くの方々のご意見を直に聞くことができました。いただいたご意見を当社のサービスに活かしていきたいと思えます。過去の号でも触れましたが、一橋大学の江藤学特任教授の“認証・評価業務はサービス業務”、“認証・評価業務は、ビジネスマインドを持って民間企業が担当、発展させるべき”という言葉が社員全員が心に留め、認証・評価サービスを提供してまいります。当社の対応でいわゆる“上から目線”の言動や、不当に高い見積などがございましたら、当社ウェブサイトの“お問い合わせ”からご連絡ください。また、ご好評をいただいた規格解説のウェビナーを引き続き実施しますので、興味のある方はぜひお申し込みください。

創業以来38年間の間に蓄積した技術的ノウハウを活かした認証・評価で、お客様の製品を使用する消費者の皆さんに“安心・安全”をお届けできるよう、来年も取り組んでまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

趣味の養蜂ですが、今年の異常な暑さによる巣落ちで蜜蜂たちがすべて逃げていきました。今後の捕獲を楽しみにしたいと思います。

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで [Yamashita-jun@cosmos-corp.com](mailto:Yamashita-jun@cosmos-corp.com)  
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

### コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2024-12-01 (No. 170)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2024 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。